

高原直樹先生には、授業後、助言をいただきましたが、改めてまとめてもらいましたので、そのまま頂いた記事を書きたいと思います。

八重山地区小学校体育研究会検証授業 10月18日（金）6校時

宮良小学校 5年1組「キャッチバレーボール」 入波平 信吾教諭

授業参観し、とにかく「レベルの高い授業だな」という印象を受けました。

○運動量確保と話し合い活動の充実した授業

○キラリタイム（話し合い）からの練習、実践は有効

助言

★話し合いの中で「チームの課題」と「個人の課題」がごちゃ混ぜになっているので整理するとさらに良い。

★ゲーム中の話し合いタイム（3点目が入った時点で作戦タイム：30秒でもいい）があるとさらに課題解決につながるのでは。

★苦手な児童への特別ルールや得点した時のパフォーマンス等を取り入れることで、すべての児童が「チームの力になった」等の達成感・充実感を味わえるかも。

研究大会当日は評価等の質問が予想されますが、子供たちがこの授業を終えた時、充実感や達成感を味わえることが体育の目的でもあるので、ブレずに取り組んでほしい。

また、小学校の研究が成功する！と確信をもったのは、授業後、先生たち自身が実際にプレーし、検証をしていることです。本当に感銘を受けました。研究の成功を祈念しています。

2019.11.1 学校教育課 高原直樹

授業後、高原先生の助言と授業研究会の話し合いで、次の検証授業への改善を確認することができました。助言をいただいた高原直樹先生、参観した先生方ありがとうございました！

小体研

2019年（令和元年）

11月7日（木）

◇第5号◇

八重山地区小学校体育研究会広報誌

〈体育領域〉 **キャッチバレー** 学体研県大会に向けた検証授業

宮良小学校 入波平信吾先生

去った10月18日（金）に、県学体研に向けた検証授業が行われました。前回大浜小で兼松先生が実践して下った検証授業を更に改善し、宮小っ子の元気に楽しむ授業を参観させていただきました。検証授業後は、参観していただいた先生方で、実際のコートとボールを使って、実践検証！**実際に教師が実践**することで、楽しみも難しさも感じ、机上の検討会以上に盛り上がりました。

また、石垣市教育委員会より、高原直樹主事も参観と指導助言もいただきました。検討会には宮良小の先生方も参加していただき、**作戦タイム、トスの重要性、苦手な児童への配慮**などのポイントが見えてきました。検証授業を引き受けてくださった信吾先生をはじめ、宮良小の先生方、参観いただいた先生方、ありがとうございました。



単元名：キャッチバレー

対象：宮良小学校5年1組 23名

7/8時 ねらい2：ノーブロックの状況をつくって攻撃しよう。



高原直樹主事より（授業後の体育館にて頂いた指導助言）

- 運動量を十分に確保した上での話し合い活動ができた授業であった。
- 話し合いの進め方がよかった。
- 全員がルールを守るというスポーツの前提が守られ、児童が楽しんでいる。
- 話し合いの内容は、個人のことなのか、チームのことなのか、焦点をしぼった指示があるとよい。（作戦のせいなのか、個人の技能のせいなのかごちゃごちゃしている様子だった）
- ゲーム中の話し合いの場を設定してはどうか。
※授業後の我々の実践検証でも、検討会でも、その必要性を確認できました！
- バレーが得意な子にボールが集まりがちなので、苦手な児童は2ポイント制など、工夫すれば作戦の可能性の広がり期待できるのではないか。
- ポイントが決まったときのかけ声などがあれば、もっと盛り上がりのある授業になるのではないか。

両面あります

文責：仲本英男（平真小）